



Report ▶ 明治座創業 150 周年記念前月祭「大逆転! 大江戸桜誉賑(おおえどかーにばる)」

練馬区商業まつり・歳末売出し招待会



3月21日(火・祝)、各商店会の歳末売出しで特賞を当てたお客様1,300名をお招きし、今年150周年を迎える明治座(中央区)で練馬区商業まつりを開催しました。昨年9月の中元売出し招待会につづき、3年ぶりに無事に実施。豪華スターの共演による笑いあり涙ありの舞台を、ご来場の皆さんに存分に楽しんでいただきました。



挨拶の要旨



小川善昭会長

3年にわたり私たちの生活に大きな制約をもたらした新型コロナが、5類感染症に移行する方針が発表され制限が解除されつつあります。商店街も感染予防に注意しつつ活動を再開しました。久しぶりに開催したイベントに、大勢のお客様が集まり笑顔で楽しんでくださる姿に大いに励まされております。区内76の商店会の力を合わせて地域を支え、練馬区を盛り上げていきたいと思っていますので、お力添えをよろしくお願い申し上げます。



前川耀男練馬区長

区政10年の努力が実を結びつつあります。先日、大江戸線延伸の検討組織が都知事主導で立ち上がりました。着工に向け確実に動き始めると思います。順天堂練馬病院が救急救命センターに指定され、6月にはワナー ブラザース スタジオツアー東京が開業。牧野富太郎博士がモデルのNHK朝ドラ、全国都市農業フェスティバルなど、区発展の具体的な道程が大きく拓けています。商店街の皆様の力が不可欠です。一心同体で、私も先頭に立って頑張っています。



藤井たかし区議会議長

工事中の練馬文化センターに変わり、今回の会場となった明治座は今年150周年だそうです。横に長く奥が短い会場は、演者さんの雰囲気隔々まで伝わります。まさにお客様のための劇場で、本日のお客様はラッキーだと思います。どうしたらお客様に喜んでいただけるかという、役員の方々の試行錯誤に感謝申し上げます。商店街に元気がないと地域に元気ができません。街を盛り上げるため、引き続きご愛顧をお願いいたします。

例年より桜の開花が早く花曇りの開催日となりました。明治座のエンタランスでは、天井に飾り付けられた提灯や桜の花が、賑やかにお客様をお出迎え。一気に心が晴れやかになります。

開演に先駆けて式典を行い、鈴木政信副会長の司会のもと、小川善昭会長の挨拶、来賓の前川耀男練馬区長、藤井たかし区議会議長から挨拶をいただきました。来賓・実行委員の紹介後、いよいよ開幕!

明治座創業150周年記念前月祭と銘打ったこの演目は、松平健さん、コロッケさん、久本雅美さん、檀れいさんの4名が名を連ねる豪華キャスティング。それぞれのスターが登場するとともに会場が湧きたちました。華麗な殺陣や迫力満点の歌声に酔いしれ、コロッケさんのモノマネショーに大爆笑! 夫婦や親子の愛の物語には涙を誘う場面もあり、俳優さんたちの演技に魅せられあっという間の3時間でした。舞台の大団円では『マツケンサンバII』で大盛り上がり! 金ピカの幸福感に会場は包まれました。

終演後には恒例の一番乗りのお客様から主演4名の方に花束贈呈をし、記念撮影を行いました。松平健さんから「皆様の前で芝居ができ、やはり生はいいなと実感しております。拍手と笑顔をいただき、また続けていきたいという気持ちになりました」と心温まるメッセージ。会場を後にするお客様も「とっても楽しかった! マツケンサンバを間近で見られるなんて…本当に感動しました」と興奮冷めやらぬ様子で話してくれました。多くの皆さんに楽しんでいただけた招待会となりました。



左から、石手静江さん、河合健志さん、多田庄志さん、松山洋子さんが、花束贈呈をしました。

たちばなし

当商店会の悩み、課題は、役員の高齢化です。若い会員が少ないわけでは無いのです。新規開店する商店の経営者は若者がほとんどです。その経営者たちが、隣近所と仲良くし、街を愛し…となるまでは時間がかかるのかもしれないし、ましてや商店会の役員になるなどは、考えてもいないことかもしれません。自分の若い時を考えてみると、業界、商店会ともに「若者を育ててく」と、幹部の方たちが青年部、二世会、懇親会などの名称で若者を引っ張り出す策が講じられていたように思います。

時代は繰り返しているようです。若い世代たちが、心惹かれる、やりがいがある、興味がある「何か」を見つけ出すことが必要なことかと思えます。その中で、仲間を増やすなど、連帯感が出てくるのが、大事なことかと思えます。

商店会のイベントの企画、運営の中心には働き盛りの40・50代がベストなのですが、現状では若者のアルバイトなどに頼らざるを得ません。商店会員同士の横のつながりの無さが、イベントの広がり、盛り上がり、今ひとつ、マイナスに働いているように思えます。他の商店会ではどのように取り組んでいるのか、成功例、失敗例など情報を共有できれば参考になります。

また、先日行われた、練馬区の商店会デジタル化のアンケートでも、ホームページ、SNSへの取組の課題として「人材がない」が目につきました。これは経営者本人では、できないというところではないでしょうか。デジタル化のために人材を増やすのは難しい…。各商店では解決できない課題だと感じます。スキルを持つ人をお願いします。商店会単位で勉強し、スキルアップしていくのがいいのかなと思います。

練馬区商店街連合会 会計
江古田駅北口商店会

会長 佐久間 利和

商連・振連合同新年賀詞交歓会 区商連創立70周年記念式典・祝賀会を開催！



小川善昭会長



前川耀男区長



藤井たかし練馬区議会議長

2月1日(水)、ホテルカデンツァ東京ラ・ローズで、商連・振連合同の新年賀詞交歓会を開催しました。同時に商連創立70周年記念式典・祝賀会も実施。新型コロナウイルス感染症拡大の影響で開催は3年ぶりとなり、春先の陽気の中、多数の出席がありました。

江村健二副会長の司会のもと、小川善昭会長は、70周年を迎え、関係者への支援に感謝するとともに、「37年の長きにわたり会長を務めてこられた故篠利雄氏のもとより、連合会の基礎を築き発展に尽力をいただいた歴代の会長、役員および先輩諸氏にも大いなる敬意を表したい」と挨拶しました。商連の歴史や商店街を取り巻く環境を振り返り、「多くの人々がスーパーやコンビニ、ネットショッピングを利用するようになっても、地域に根ざした商店街があってこそ、活気ある町、安心して住める町が成り立ちます。連合会として、地域の商店街ならではの魅力を発信するとともに、行政や地域の皆さまとともに、“ねりま推し”事業を進めてまいります」と力強く締めくくりました。



70周年記念式典では、長年の功労をたたえ、篠利雄(故人)前会長をはじめ、平野克義前副会長ら5名に感謝状・表彰状を贈りました。

来賓の前川耀男区長は祝辞で、日本の名目国内総生産(GDP)が今年にもドイツに抜かれ4位に転落する恐れがあるとの報道に触れ、「区長として練馬区の発展を死守しなければならない」としました。その上で、牧野富太郎博士をモデルにしたNHKの朝ドラやとしまえん跡地にできるワーナー ブラザース スタジオツアー東京、全国都市農業フェスティバル、救命救急センター、東京都練馬児童相談所などのプロジェクトや政策を通じて「練馬区は発展の道が開けている」と勢いのある練馬区を強調しました。藤井たかし練馬区議会議長は、「4月からイベント助成に6分の5で予算対応します。地域の活性化、商店街の活性化にがんばりたい」と話しました。商連の上部団体である東京都商店街連合会城西ブロック・中野区商店街連合会の高橋宏治会長は、「さまざまな問題がありますが、希望ある未来を信じてしっかりと挑戦していきたい」と抱負を述べました。

小池百合子都知事、桑島俊彦東京都商店街連合会会長等の祝電の紹介があり、その後、乾杯となりました。会食・懇談中は佐藤公明役員が「ねりま推し」「まちゼミ」について説明したり、中村橋新連から阿波踊りの演舞があつたりと、大いに盛り上がりました。

閉会の挨拶は、鈴木政信副会長が「新しい躍進を目指し、会員一丸となって活動していきます」と話し、中締めは諸井良治役員の三本締めで景気よく締めくくりました。



令和5年度 練馬区商店街関連当初予算成立

令和5年度の練馬区の当初予算は、去る3月10日(金)、区議会第一回定例会の最終日に可決されました。商店街関連の当初予算は、商工業団体補助金が265,662千円、商店街振興費が総額162,869千円、その他が800,000千円となっています。商工業団体補助費、商店街振興費およびその他の当初予算は、下記のとおりです。

令和5年度 商店街関連の主な予算

1. 商工業団体補助

(単位:千円)

事業名	令和5年度 予算額	令和4年度 予算額	内 容
合 計	265,662	244,300	
練馬区商店街連合会補助金 (商業まつり・ニュース) (専門家支援等)	27,950	27,950	区内商店街の活性化を目的として、練馬区商店街連合会が実施する中元・歳末大売出し事業(商業まつり)と区商連ニュース発行事業を支援する。
	5,285	2,671	商店会向けデジタル化を推進するための専門家によるサポート事業を支援する。
	2,678	0	ねりま推しに合わせた練馬区商店街連合会が練馬区全体の商店会の賑わい創出に寄与する取組を企画・実施していくためのコンサルタント経費を支援する。
	5,000	0	区内共通商品券のデジタル化の検討にあたり専門家を活用する経費を支援する。
活力ある商店街づくり 補助金	11,749	11,179	商店会が所有する装飾灯等の電気料や商店会が行うイベント事業、商店街加入促進事業等を支援する。
	8,000	1,800	商店街が実施するデジタル技術を活用した情報発信に関する取組を支援する。
	5,000	0	練馬区商店街連合会が行うねりま推しイベントを支援する。
プレミアム付商品券 事業補助金	200,000	200,700	プレミアム付商品券事業の実施を令和2・3・4年に引き続き支援する。

2. 商店街振興

(単位:千円)

事業名	令和5年度 予算額	令和4年度 予算額	内 容
合 計	162,869	131,997	
いきいき商店街 支援事業補助金	17,027	15,042	商店会が提案する活性化事業(装飾街路灯のLED化やホームページ作成など)を支援する。
にぎわい商店街 支援事業補助金	102,068	90,050	商店会が実施する各種イベントおよび売出しを支援する。また、キャッシュレス決済の利用促進に係るイベント事業を支援する。(新型コロナ対策のため特別補助率を令和2・3・4年度に引き続き5/6とする)
共同施設維持管理費 補助金	21,304	15,305	商店会が所有する装飾街路灯等の維持管理費(電気料・修繕費)を支援する。
商店街振興組合補助金	1,000	1,000	商店街振興組合の運営を支援する。
地域連携型商店街 事業補助金	2,160	0	商店会が地域団体等と連携し、商店街を含めた地域一帯の賑わい創出に向けて取り組むイベント事業や活性化事業を支援する。
お客が集まる個店づくり 支援事業補助金	3,540	3,600	練馬区商店街連合会が実施する「まちゼミ」や個店同士が連携して取り組むイベント、事業継承時等の店舗改修を支援する。
商店街空き店舗活用 支援事業	15,770	7,000	商店街の複数の空き店舗を活用して出店を希望する事業者を商店会がサポートする取組を支援する。

3. その他

(単位:千円)

事業名	令和5年度 予算額	令和4年度 予算額	内 容
キャッシュレス決済 ポイント還元事業	800,000	補正 555,000	令和3・4年度に引き続きキャッシュレス決済ポイント還元事業を実施する。

【練馬区指定葬儀場】

社会福祉法人
東京福祉会

江古田斎場



0120-62-1192

年中無休・24時間受付

TEL 03-3958-1192 FAX 03-3958-4468

ホームページ <http://www.fukushikai.com>

※ご自宅・東高野会館・寶亀閣・橋戸会館・落合斎場・戸田斎場の葬儀も施行いたします。

練馬区小竹町 1—61—1
(西武池袋線江古田駅北口徒歩2分)



令和5年度 ねりまプレミアム付商品券 今年度も**30%**の プレミアム率で発売が決定！

練馬区商店街連合会は、新型コロナウイルス感染症の影響を受けている商店会の活性化を図るため、区の補助金を利用して区内商店（共通商品券取扱店）で利用できるプレミアム付商品券を発売します。

プレミアム率は4年連続の「30%」です。プレミアム付商品券の利用を通じて、区民の皆様に商店街を応援していただき、景気回復にはずみをつけましょう。

引き続き、商品券の取扱店を募集しています。

プレミアム付商品券の発売概要は、つぎのとおりです。



【販売対象者】 区内在住、在勤・在学者

【発行額】 額面総額6億5千万円

【発行組数】 10万組

【販売価格】 1組5,000円(500円券13枚綴り、額面6,500円。釣り銭なし)
お一人様4組20,000円(額面26,000円)まで購入可能

【申込受付】 令和5年5月11日(木)～26日(金)

【申込方法】 Web(ねりまプレミアム付商品券ホームページ)またははがきによる
事前申込(申込はお一人様1回限り)

【販売期間】 令和5年7月5日(水)～8月4日(金)

【当選通知】 未定

【利用期間】 令和5年7月5日(水)～12月31日(日)

【使えるお店】 練馬区商店街連合会加盟商店会の商品券取扱店舗 約1,300店

Report ▶ 第10回 まちゼミねりま好評でした

「まちゼミねりま」が、2023年1月20日(金)から2月22日(水)まで開催され、好評のうちに終了しました。参加店ではチラシを配布したり、のぼり旗を店頭に掲げたり、積極的に「まちゼミねりま」をアピールしました。チラシやWEBなどの効果で、これまで来店したことのない受講者の方とふれあう絶好の機会となりました。



令和5年度も同時期に「まちゼミねりま」を開催する予定です。その際には商店会長・理事長を通して会員の方にお知らせをいたしますので、ぜひご参加ください！

(4ページに取材記事を掲載)



区振連 第29回 区商連 第72回

通常総会・懇親会 のお知らせ

開催日時

5月20日(土) 午後2時から
(懇親会 午後4時30分から)

会場

ホテルカデンツァ東京



HANACHAN KONCHAN

地元で宣伝するなら

練馬・板橋の
タウン誌 **Kacce**
月刊カッセ



広告やPRブログ
いつでも募集中！

協同クリエイティブ

☎03-3975-7143

http://www.kacce.co.jp



区商連ニュース・区商連ホームページを制作しています

お祝やご贈答に
どうぞご利用下さい。

練馬区内共通商品券

練馬区商店街連合会
練馬区商店街振興組合連合会



SNSをフォローして、
IMAの最新情報をCHECK！

LINE



光が丘 IMA
@ima_hikari

Instagram



光が丘 IMA
@imahikari.official

Twitter



光が丘 IMA
@IMA_PR

Report

第10回
まちゼミねりま

2023年1月20日(金)～2月22日(水)まで
約1か月間実施されました。
参加店は47店舗、全46講座の開催でした。

美容室 サロンド MON 「オーガニック100%ヘナ 体験会」



オーガニック100%の植物ヘナで、髪を傷めず白髪染めと髪質改善する方法を実践し、自宅でもできるコツなどを学びました。取材日の受講者は4名。まずはプリントを配布してヘナの効果や効能について説明。ヘナ粉がダマにならない混ぜ方、塗るときのコツ、時間によって色が変わるなど、プロの指導は説得力があります。代表の家村真津美さんは「まちゼミはすごくいい取組ですね」とのこと。初参加の受講者も「次はいつあるのか知りたいです」と、1回でまちゼミファンに！

ビューティーショップ しみず「眉の描き方困っていませんか？」



眉の形や濃淡が顔の印象を決めるという眉の重要性を説明し、一人ひとりに眉の整え方や描き方をていねいに教えていきました。自分でコームを持って眉を整えるなど、30分ほどのレッスンが終了。受講者の方からは「今まで適当にお手入れしていたので、こんなにいろいろと教えていただき驚きました。うれしいです」「描き方のカルテもいただいたので、家でも練習したい」と満足された様子。講師の方からは「毎日のお手入れに生かしてほしいので、いろいろとお伝えしたくなります」。また、店長の清水さんは「まちゼミでは、初めてご来店される多くの方とお話ができるのも楽しみのひとつ。私たちが勉強になります!」。コロナ禍も落ち着き、3年ぶりのまちゼミ開催をお店の皆さんも喜んでいました。

ソニーショップ 山賀電気 「ミラーレス一眼カメラ撮影体験会」



ソニーのミラーレスカメラを使った撮影体験会が開かれました。この日の受講者は5名。代表の山賀剛さんが講師となり、ミラーレスカメラとスマホカメラの違いや、撮り方の説明をしました。テーブル上の小道具を被写体にして撮影会に入りました。最後はそれぞれのベストショットを店内の大画面テレビに映し出して、山賀さんの講評を受けました。受講者からは、「家でもおさらいして、子どもを撮りたい」「ポイントを絞った説明で、スマホカメラとの違いがよくわかった」との声が。山賀さんは「関心を持って参加される方が多く、毎回、いろんな質問を受けています」とのこと。まちゼミは、地域のお店を知る機会でもあるので、その後の購買にも繋がっているようです。

光が丘大幸接骨院 「外反母趾のテーピング予防」



受講者2名が参加して外反母趾の原因、改善方法について講師の奥田久幸先生のわかりやすい解説から始まりました。足指のストレッチをした後、テーピングの実技に。受講者からは「足が軽くなりました。歩くのが楽しくなりそうです。いつまでも自分の足で歩きたい」など、嬉しい感想。図書館に設置された、まちゼミチラシを見て参加した受講者からは、「区外から引越してきたのですが、練馬区は色々な取り組みをしているのですね」と感心していました。奥田先生は「来年度もずっと、まちゼミを続けていきたい」と話します。家でもテーピングができるようにと、カットした剥離紙を受講者に渡ししながら、「やり方など忘れたらまた来てください」と声をかけていました。

さをり工房 われもこう 「楽しく織ろう! ランチョンマット」



受講者3名と施設利用者3名が、さをり織り体験をしました。講師の菊地茜さんは「さをり織りの良さは自分を表現できるところ。糸を織る力の強弱や糸の本数などで、世界で一つだけの作品を作ることができます」と、魅力を伝えます。受講者からは「近所に住んでいて前から興味がありましたが、この機会にやっと訪問することができました」「簡単な操作でできるし、自分のペースで進めていけることが嬉しい」といった声。受講者も施設利用者も自由に糸棚へ取りに行き、自分の世界に没頭しながらランチョンマットを制作しました。菊地さんは「まちゼミは地域の皆様と交流ができる貴重な機会。施設利用者さんも張り切っています」と、喜んでいました。



商店会の様子

北大泉商栄会は、もとは大泉第一小学校前の通りをメインに商店街として賑わってきましたが、東京自動車外環道ができてからは東西のエリアに分散される立地となりました。商店会の特徴や活動について、今年1月に就任した佐藤会長にお話を伺いました。

「会員の構成は、お客様商店の店は10店舗前後ですが、いろいろな業種の会社も多いのが特徴です。所在地は大泉町を中心に、大泉学園町などに点在しています。最近、外環道の側道にカフェと居酒屋ができて、商店会に入会されまし

#050
商店会紹介

北大泉商栄会

創立：昭和49年11月
会長：佐藤國明
会員数：81
(令和5年3月)



た。お店がぼつぼつできるといのは、大泉第一小学校が大江戸線の「(仮称)大泉町駅」の新駅予定地となっているからかもしれないね」

年2回の朝市と8月の盆踊り大会が、恒例のイベントです。過去3年はコロナ禍であえなく中止でしたが、今年は4年ぶりに開催が決定しました。

「朝市も盆踊り大会も、大泉第一小学校の校庭を借りて行います。歴代の会長が校長にかけあい、良い関係を築いてきました。今年の桜の開花は早そうですが、『桜まつり朝市』を4月9日(日)に実施予定です。肉屋さんがメンチカツの揚げたてを販売したり、農家さんが新鮮な野菜を売ったり。婦人部が販売するお餅は、例年長い行列ができるほど人気です。12月の朝市は寒桜がきれいな時期ですよ」

夏には盆踊り大会が予定されています。練馬一の櫓(やぐら)と評判で、屋台も出て大変な賑わいになるそうです。



「桜まつり朝市」過去の様子

「実は、コロナ禍の3年間は何もできず、北大泉商栄会の解散話がでました。何回も話し合いを重ね、『ここまで続けたのだから』という声もあり、存続が決まりました。今年1月の総会の挨拶で、私が『変えよう商栄会! 変わろう商栄会!』と呼びかけたところ、皆さん、大きな拍手でこたえてくれました」

会員の気持ちを合わせて存続危機を乗り越えました。来年は創立50周年! 「役員会の話し合いの根底にあるのは、住みやすい地域にするため商栄会としてどう関わっていけばよいか、ということですね。若手の地域交流部(青年部)より改称には、今後の商店会運営を引き継いでいってほしい。私たちの代が、その架け橋となればと思っています」



大江戸線延伸に向けて設置されている啓発看板

商店街
活動だより

このコーナーでは、商店会で実施したイベントをご紹介します。「原稿と写真で報告」または「取材に来てほしい」として、区商連までお声がけください。



原稿送付先

区商連事務局

☎3991-2241 FAX 3991-2276

区商連ホームページにも掲載します

<https://www.nerima-kushoren.jp/evpastlist>
